



国際ロータリー第 2790 地区第 5 グループ
2025-26 年度 第 22 回例会 (通算第 2712 回) 週報
2026 年 1 月 28 日 (水)

出席

会員 44 名 出席 28 名 欠席 16 名
出席率 68.29% (28/41)
修正前出席率 68.29%
修正後出席率 85.36%

欠席者【敬称略】

加藤・金見・叶川・小島・近藤・嶋津・四宮・鈴木(秀)・鶴岡・
林田・藤野・堀内・渡邊(慎)

メイクアップ【敬称略】

1/7 2790 地区 財団資金管理・寄付推進委員会
堀内
1/16 2790 地区 ロータリー財団統括委員会
堀内
1/19 2790 地区 奉仕プロジェクト統括委員会
堀内
1/24 2790 地区 第 9 回 AG 委員長会議
堀内

例会

■司会進行

S.A.A. 大里光夫委員長



◆点鐘

吉田和義会長

◆R ソング斉唱

「手に手つないで」

◆四つのテスト

外崎広旭会員



会 長 吉 田 和 義
幹 事 倉 島 和 広
会報・IT 活用委員会委員長 阪 中 昌 司
副委員長 大 岩 も え

RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ
ガバナー 時 田 清 次
ガバナー補佐 渡 邊 慎 司

◆ゲスト・来訪ロータリアン紹介 吉田和義会長
 国際ロータリー第2790地区会員増強・基盤向上委員会
 委員長 佐々木高治様
 委員 出口稔暢様
 大塚孝典様

◆新会員入会式 進行：S.A.A. 大里光夫委員長
 はまだころ様
 濱田ころ様

⑤推薦者挨拶 宮寺順子会員



⑥新会員挨拶 濱田ころ会員



⑦委員会配属発表 倉島和広幹事

◆R財団表彰 吉田和義会長



第2回 ポールハリスフェロー 豊田文智会員



①新会員紹介 吉田和義会長
 ②ロータリーの目的・四つのテスト贈呈 吉田和義会長



③ロータリーピン贈呈



④援助会員指名 吉田和義会長

第1回 ポールハリスフェロー 石田亨会員



◆誕生日祝い



有島敏夫会員(1/ 8)
江崎勝博会員(1/14)
内田重会員(1/17)
平野秀和会員(1/26)
林田謙志会員(1/2 8)

◆私の記念日祝い

内田慎一郎会員(1/15)
渡邊元貴会員(1/17)
鈴木克己会員(1/18)
有島敏夫会員(1/25)
内田重会員(1/27)

◆会長挨拶・報告

吉田和義会長



皆さま、本日は1月第3例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

前回1月21日の例会以降の活動について、報告事項はありません。

本日のアワーは会員増強委員会の担当として、会員増強についての卓話をいただくことになっております。奇しくも、濱田さんを新たな仲間を迎え入れることとなりましたが、山田さんのご逝去、大隅さんの退会と、クラブとしての会員数は純減となっております。

そんな中、地区会員増強・基盤向上委員会委員長である佐々木様から卓話をいただけることとなりました。本日の卓話が、クラブの将来を考える良い機会となり、皆さまの行動につながることを期待しております。

以上、会長挨拶並びに報告とさせていただきます。

◆幹事報告

倉島和広幹事



1. 幹事報告

- 1) ガバナー事務所より「MCRレポート12月号」等が届いておりますので回覧いたします。
- 2) ガバナー事務所より「風のたより」が届いておりますので回覧いたします。

2. 他クラブからのお知らせ

なし

3. その他のお知らせ

なし

4. 回覧

- ガバナー事務所より「MCRレポート12月号」等
- ガバナー事務所より「風のたより」

◆委員会報告

◇ロータリーの友 1月号紹介 雑誌・姉妹クラブ担当委員会
遠山誠一委員長



通常なら、第二例会でロータリーの友の紹介を行うところですが、今回は、日程の関係で月末の紹介となりました。

では1月号の紹介をいたします。今回は、まず、縦組みの記事の中から紹介します。

2ページから「寄り添いの経営」徳武産業(株)十河(そご)孝男氏の講演内容の記事が掲載されています。十河氏は、約30年前の1995年に当時の業界の常識を覆し、足腰の弱い高齢者のために「左右サイズ違い販売」「左右片方販売」の介護シューズを開発し、普及させた方です。靴の世界では、左右サイズ違い販売や片方だけ販売は一足組から片方を抜くため在庫が偏り、経営を圧迫するため、タブーだそうです。しかし、高齢者の間では足のむくみや腫れで足のサイズが左右で違う方が多く、当時は、左右同じサイズの靴を履き無理して歩くため躓きや転ぶ原因となっていた実態があったそうです。十河さんの会社では、これらの方々の声や願いに徹底的に寄り添う経営で「左右サイズ違い販売」「片方だけ販売」を実現させたと語っています。今では大手メーカーも相次いで参入し、「左右サイズ違い・片方だけ販売」は介護シューズ業界の非常識から常識へと変わっているそうです。

お客様に寄り添い、お客様や社会の信頼・信用を得て、非常識を常識へと変え、競争相手も仲間へと変え、介護業界全体の発展につなげ介護の世界に貢献する。ロータリーの職業奉仕の意味をあらためて考えさせられた記事です。

続いて、同じ縦組みの18ページです。ロータリーあるある相談室のコナー記事でなるほどと感じた記事を紹介します。

クラブの懇親会の最後に歌う「手に手つないで」の手をつなぐことが実は何となく苦手との相談に対して、回答の②で茨木西RCの宮里PGが「手に手つないで」は、ロータリーの先人達が1952年に日本のロータリーが二つの地区に分割された際に、会員の友情と団結を象徴する歌として歌い始め、今まで大切に歌い継がれてきたと答えています。そして、クラブ内で例会等に対する考え方も様々で議論紛糾する場合でも、別れ際に手に手をつなぎ、同じ歌を歌うことで寛容を思い起

こすのだと思うと述べています。PGの含蓄ある回答に思わずなるほどと頷いてしまいました。

最後に横組み記事の中から、職業奉仕月間にちなんだ、ユニークな取り組みの記事の一つを紹介します。

18ページからの「ワークウェア例会で仕事の仲間をもっと身近に」です。創立75周年を迎えた伝統ある福島RCでは通常の例会の他に、会員がそれぞれの職業の仕事着を着て集まり各自が考える職業奉仕を発表する、ワークウェア例会を開催しているとのこと。医師をはじめ、通訳、ビルメンテナンス、包装資材の製造・販売、神社関係、弁護士、調理人、新聞販売などそれぞれの職業で「四つのテスト」をどのように日々の仕事の中で実践しているかが掲載されています。各クラブで例会の活性化が課題となっているようですが、当クラブでも参考にする価値ある取り組み事例と感じました。

◆ニコニコボックス報告 親睦出席委員会 藤田洋行会員



○渡邊元貴会員

結婚祝の美しい花が届きました。ありがとうございます。

○江崎勝博会員

誕生日、ありがとうございます。引き続きよろしく願います。

○吉田和義会長

会員増強・基盤向上委員会 佐々木様、出口様、大塚様のご来訪を歓迎いたします。濱田さんの入会を心より歓迎いたします。

○内田慎一郎会員

1月15日が結婚記念日でした。お花をいただきましてありがとうございます。

○平野秀和会員

1月26日に78才になりました。これからも健康に留意して、家族とゆったりとすごしていきたいと思ひます。

○内田重会員

70代最後の年となりました。これからもNHKのラジオ体操と散歩を続けたいと思ひます。今年もよろしく願ひします。

○有島敏夫会員

誕生日をお祝いいただきありがとうございます。1月8日
で94才になりました。また、25日の私の記念日にはきれいな花束をありがとうございます。もう少し頑張ります。よろしくお祈いします。

○宮寺順子会員

濱田こころさん、木更津東RCにご入会おめでとうございます。これからよろしくお祈いします。

○豊田文智会員

ポールハリスフェローをいただきました。ありがとうございます。

○倉島和広会員

佐々木様、出口様、大塚様のご来訪、歓迎いたします。本日の卓話よろしくお祈いいたします。また、濱田こころさん入会、おめでとうございます。これからよろしくお祈いいたします。

◆出席報告

親睦出席委員会 藤田洋行会員

■例会アワー

会員増強委員会 宮寺順子委員長



◆卓話

テーマ：「会員増強」

卓話者：佐々木高治様

第2790地区会員増強・基盤向上委員会委員長



会員増強・基盤向上委員会



ロータリー創設120年、
その存在理由に立ち返る

1905年ロータリーが設立された当時の
アメリカの背景

- 1890年から1914年の間に、南東ヨーロッパやアジアから約2000万人がアメリカに移住。
- 職を求めてアメリカは「機会の地」として知られ、多くの移民が低賃金労働に従事。
- 移民が低賃金で働いたため、既存の労働者（特に白人労働者）が職を失う懸念が高まる。
- 多くの移民が都市部のスラム街に住み、衛生状態が悪化。病気や犯罪が増加。

- 異なる文化や言語を持つ移民が増えることで、アメリカ人と摩擦が生じる。
- 移民排斥運動（ナチビズム）が高まり、中国人排斥法（1882年）や移民制限法などの政策が実施される。
- 都市の急速な成長に伴い、貧困層が集中するスラム街が形成。若者たちが不良グループを結成し、やがて犯罪組織（ギャング）に発展する。禁酒法（1920-1933）がギャングの勢力を拡大するきっかけとなる。
- 一部の政治家や警察官がギャングと結託し、彼らを取り締まるどころか利用していた。

このような社会不安の中でロータリーは生まれた



ロータリークラブが

120年経った現在も存在しているには
存在理由がある

新しい会員になる可能性がある方に、
クラブの入会を勧める場合、
あなたはどのように声をかけますか

1906年の綱領(ロータリーの目的)

- 1.本クラブ会員の事業上の利益の増大
 - 2.社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進
- 互恵取引=「**会員ビジネスの推進**」と「**会員間の親睦**」が
初期のロータリーの目的
- 会員間でのビジネス「一業種一人」 自分達の為のクラブ=親睦



「会員以外の人にも役に立つ様な活動があればこそ将来性があると思う。
ロータリークラブは、
何らかの公共の奉仕を行うべきで、行っていないならクラブにも会員にも魅力を感じない。」
by ドナルド・カーター

創業からわずか1年で、ドナルド・カーター氏が「奉仕」の視点を加える重要性を訴えた。
〔『仲良しクラブだけでは魅力がない』という言葉は、ロータリーの根幹を変える大きな一歩

地球は自転しており、赤道付近では時速1670 KMもの速さで回っています。

$$4万KM \div 24時間 = 1670 \text{ km/h}$$

それでも人が飛ばされないのは、地球に引力があるからです。

追加された綱領

3.シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める。

⇒ 「奉仕」

シカゴ市内に公衆トイレを建てた。恵まれない子供を助け、貧困に苦しむ人に食べ物のバスケットを用意するなど新たな活動を展開した結果、非営利法人として登録された。(1907年)

会員数140名

自分たちの集まりから、「他のために」舵を切ったことが、ロータリーを120年続く存在にした原点である

全ての物を引きつけて止まない引力=
人が持つと=魅力

クラブの魅力=人を引きつける力とは何か、これを考えてみましょう。

【各クラブ会員満足度アンケート】 会員増強・基盤向上委員会

アンケートのリンクは[こちら](#)

「クラブの魅力とは何か？」

それを知るに、現状を見つめるための満足度アンケートは、

「クラブ活性化」の第一歩です

アンケートを取ることでクラブの魅力や課題が明確になる

是非、毎年アンケートを取り、検証を重ねてください

皆様のクラブの存在している理由は
何ですか

例会日：毎週水曜日 PM12:30～1:30

例会場：オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111

事務局：木更津市朝日 1 丁目 2-29 シグママンション朝日 B 棟 105 号

TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス

eastkisarazu-rc@nifty.com